

# Book Review

## Dr. Hiro のペリオの愛し方

山本浩正 著



Reviewer

天野敦雄 Atsuo Amano

(大阪大学名誉教授/特任教授)

AB 判, 144 頁  
カラー  
定価 5,940 円  
(本体 5,400 円+税 10%)  
医歯薬出版  
2025 年 11 月発行



20 世紀の末、ペリオの最新情報は英語でしか知り得なかった。2002 年、山本浩正著『イラストで語るペリオのためのバイオロジ』(クインテッセンス出版刊)が、ペリオの最新バイオロジを日本語でわが国にもたらした。私は山本浩正先生を、「ザビエル山本」と名づけた。髪型が似ているのではない。キリスト教をもたらした宣教師のように最新のペリオを日本人に触れさせたからだ。

以来、ザビエル山本の宣教活動は燎原の火のごとく広がり、成書は 20 冊を超えた。一時の鎮静も見せない彼は、さらに新たな成書を刊行した。しかしである……。本書表紙の衝撃的すぎる文言に、私は顔を赤らめ腰を抜かし、頭を打って失神した。

出版社名の上に「愛の指南書」とある。ザビエルは映画「愛のコリーダ」の宣教を始めたようだ！ 医歯薬出版といえば、良識と気品に溢れる出版界の雄。常識が塗り替えられたのだ。私が卒倒するのも無理がない。

しかし、意識が戻り大きな勘違いに気づいた。愛の指南とはペリオを愛す

ための指南であった。「人は愛する物からしか学べない(ゲーテ)」とザビエルは語る。ペリオを愛して初めてペリオを知る。好きこそ物の上手なれ、である。

歯科衛生士さんに向けての愛の指南は丁寧だ。私なら 3 行で終わる解説が、ザビエル流は 10 行を超える。文章に比喻やボエム、小ネタギャグがちりばめられている。滑るリスクを冒しての親切である。さらに、文字に劣らぬスペースを費やして、すべての文章にイラストが配されている。字を読まなくてもいい。読者の記憶に「愛し方」を確実に残そうという意図が見てとれる。

旅のガイドに例えると、ザビエル山本は目的地などないそぶりで、周りの景色や風・香りを愛で、同行者に愛おしい記憶を残していく。同行者が幸せ気分を満たされた頃、まんまと目的地に到着させるのである。策を弄するのが上手い。

本書をまだ手に取っておられないあなた、早速ネットで本書の項目立てを見てみよう。凄いぞ！ 1 章は「ペリ

オを愛するために」。初っ端からドストライク。2 章からは「愛し方シリーズ」。「歯周組織」「歯周病菌」「検査」「デブライドメント」「器具」「メインテナンスの愛し方」。最後は、「患者さんと自分の愛し方」に終わる。最新のエビデンスとバイオロジと、ザビエルの 40 年を超える経験に基づいたペリオドントロジが展開されている。最後には、たくさんの歯科衛生士の心と生き様に寄り添った、ザビエルの愛溢れる生き方指南が述べられている。よくできた本や。「この本を手にしらない＝一生の後悔」である。

最後に、私の自慢をひとつ。大学の卒業試験(口頭試問)で、ザビエルは歯周病学の教授に怒鳴られ、成績は「可」が付いたそう(本書エピソードより)。私は彼の 1 学年上の卒業生。実は私も、卒業試験でこの教授に怒鳴られた。私の説に「君のはへりくつだ！」と教授が怒鳴った。あたりは凍りついた。でも私の成績は「良」だった。五十歩百歩と笑うでない。